

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 25 日(月) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	和田まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	芦谷、川神、今田、岡山、森谷(市民として参加)		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・以前、総務委員会の議員が来て自主防災のヒアリングをしたが、結果の情報共有や他地域の事例、結果に伴う今後取り組みについて共有してほしい。 ・当地区はキントーンを使用し、情報共有を図る予定。議員の方の話から学ばせていただいたこともたくさんあった。 ・やっただけのマイタイムラインの使用であれば、改定などに手間がかかるだけで、やるなら最初から高レベルの物を構築したい。行政もしくは議会が主導してほしい。 ・弥栄断層が動けば、かなり大きな地震になると思われる。もっと専門的な方から話を聞く機会を増やすべき。 ・和田まちづくりセンターは避難場所になっているが、ハザードマップ上では黄色エリアである。 ・戸川地区に関しては、a u しか入らず、電波的には不安。 ・マイタイムラインなど携帯が使えなくなったら意味をなさないため、多様な情報発信に努めてほしい。 ・気象情報についても、浜田エリアと旭エリアでは気象状況が違う場合もあるので、広域な情報ではなく、もう少し細分化した情報がほしい。		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・高齢者問題について、前市長時に高齢者に対する補助金が削られた経緯がある。現市長ではこの案件はストップしているが、高齢者に対する補助金は継続してほしい。 ・前々市長から前市長に代わった際、政策が 180 度変わった。それぞれの自治区を守るために、合併後 10 年は自治区制度の導入が続いたが、自治区制度がなくなった後、浜田市内の有利な状態となっているため、もっと各自治区に恩恵がある政策をお願いしたい。		

	・ 合併 10 年後の支所体制 50 人の話はどこにいったのか。今の支所体制では人数が少なく課題解決もできないと感じる。 ・ 社会福祉協議会と市民福祉課の関わりがうすいと感じる。
自由意見	【産業建設委員会】 100 年先に残したい浜田の食 ・ これからは、ニンニク、桃、えごま。 ・ 10 年前は干しアユやアユのうるかなどがあったが、今は地元でアユを釣る人もいなくなり、なくなっていった。 ・ 弥栄で地域の食を残す会があり、とてもいい取り組みだと感じた。 【総務委員会】 ・ 防災について、高齢者のみの世帯では、単独で避難することは非常に難しい。

	【文教厚生委員会】 ・はまだ応援チケットについて、利用期間が7月末だが、盆などの子供の帰省時に活用したいため、せめて8月末に伸ばしてもらいたい。 ・今年から自治会長に就任したが、その他にも役職が多い。自分以外にも同様の人は多く、統合や整理、見直しをしなければ、地区組織が崩壊する。今のままでは、仕事をしている若い方は、様々な役を到底受けることができない。 ・元気な高齢者はたくさんいるので、高齢者が交流できる場をもっと増やしてほしい。 ・自分の抱える病気の検査が受けられる病院が近くに無いため、遠方の病院に通っている。自分はまだ若い、高齢者であれば難しいので、そこに対する補助は必要。 ・敬老乗車券について、使用できなかった人と、もっと使用したい人とのマッチングがあれば、効率的に消費できる。敬老乗車券の購入に実費負担が生じるので、購入金額を減額してでも、無償で買えるような工夫も必要。 ・医療センターの駐車場が満車になることもあるので改善してほしい。 ・高齢者クラブの会員を増やしたいが、なかなか増えない。老後をいかに元気に過ごすかが重要であり、会員を増やす取り組みを強化してほしい。 【産業建設委員会】 ・重富都川間のトジ線に関して、合併前の公約通り、迅速な整備を望む。地方は行政からの後押しがなければ、まちを存続できない。 ・横断歩道が薄くなっている箇所が多々あり非常に危険なため、改善してほしい。 ・重富バスストップ下のカルバート内に錆びた鉄筋が見えている箇所があるため、早期の対応を求む。 ・重富川に土が堆積している箇所があるため、防災上も危険であり、撤去をお願いする。 ・旭の神楽団体も高齢化のため、各イベントへの出演は難し
--	--

	くはなっているが、それでも頑張って活動している団体もあるので、披露できる場を継続して作ってほしい。 ・まんてんの有効的な活用を求める。 ・地域協力隊の条件について、浜田市内と旭では環境が違うため、それぞれの地区に合わせた条件を設けるべき。
--	---

令和 8 年 5 月 26 日 今田 実延